

2024年度の取り組み：

(1) 2023年実施社内アンケート結果からの人権リスクの整理と抽出

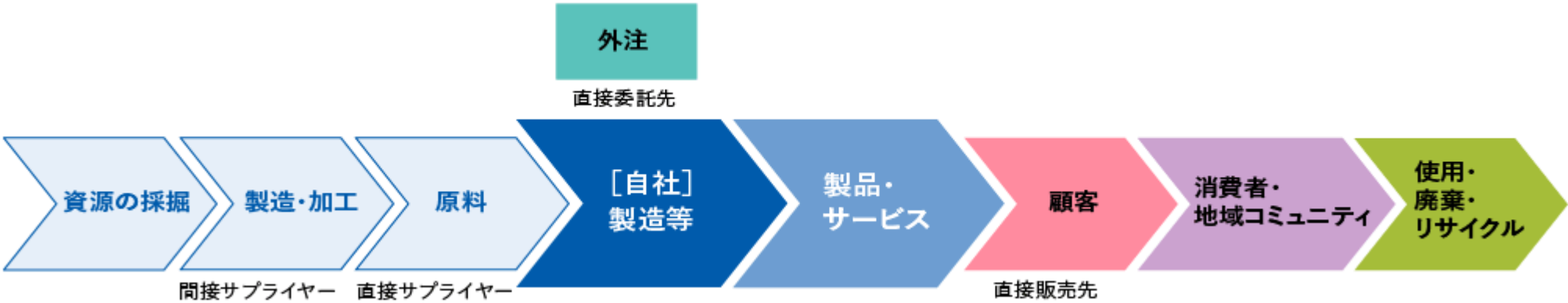
2023年度に実施した事業対象アンケートをもとに、具体的な潜在人権リスクの抽出を行いました。また、2024年度に事業部関係者から事務局へ、バリュー・チェーン上の人権に関する個別相談が5件あり、それぞれの実態を踏まえて必要な是正措置や予防策の実行などの対応を行いました。リスクが低い案件についても継続してモニタリングを行う、などの措置をとっています。

(2) グループ全体の人権デュー・ディリジェンスの手順の実務への落とし込み検討

2024年度以降、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」（UNGP）の原文にあらためて立ち返り、当社グループの3領域（マテリアル、住宅、ヘルスケア）を対象として運用に関する手順や文書の見直しを行いました。2023年に実施した人権デュー・ディリジェンスのプロセスのSTEP2中心の検討に加え、STEP5までの一連の人権課題への取り組みの対象（事業規模、業種、活動地域）を見える化し、グループ横断での文書化も含めた必要なタスクをリスト化しています。2025年度から新たにスタートした中期経営計画も踏まえ、各領域、専門部署と方向性を共有し、今後、既存実務への落とし込みおよび関係者への浸透を進める予定です。

旭化成グループのバリュー・チェーンにおける人権課題の取り組み状況

上記のリスク課題をもとに、各事業で行っている取り組みとグループとして網羅的に取り組んでいる既存の施策に加え、グループのバリュー・チェーン上での各ステップでのビジネスと人権に関する追加的な取り組みについて今後必要な施策も含め整理をしました。



旭化成グループのバリューチェーン	資源の採掘	製造・加工 (間接サプライヤー)	原料 (直接サプライヤー)	自社(製造等)	外注 (直接委託先)	製品・サービス	顧客 (直接販売先)	消費者・地域 コミュニティ	使用・廃棄・ リサイクル
関連部門	・調達 (原料・資材)			・人事、法務 ・経営企画、 コンプライアンス ・製造 ・環境安全 ・品質保証	・調達 (外注加工)	・販売、マーケティング ・物流・品質保証	・販売、マーケティング ・品質保証		
関連する人権テーマ	・労働状況 ・労働条件 ・労働安全衛生			・労働状況 ・労働条件 ・労働安全衛生 ・差別・ハラスメント ・品質・製品安全 ・環境保全	・労働状況 ・労働条件	・製品安全 ・広告宣伝	・製品の注意書き ・個人情報の管理	・住民配慮 ・環境保全	・環境保全

